

平成29年度

美作市教育委員会事務の点検及び評価の報告書
(平成28年度事業対象)

平成29年11月
美作市教育委員会

美作市教育委員会事務の点検及び評価について

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、市民へ公表することとなっております。

この報告書は、美作市教育委員会が毎年度教育行政の基本方針として定めている「美作市教育行政の重点施策」に関し、平成28年度に重点的に取り組んだ事業について、同法の規定に基づき、点検及び評価を実施した結果をとりまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

(1) 目的

教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に報告するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

(2) 対象事業と点検・評価の方法

教育委員会では、毎年度「美作市教育行政の重点施策」を定めており、主要な事業の取り組み並びに達成状況について点検・評価を行いました。

点検・評価の方法については、評価及び課題を文章で表現しています。

また、評価の客観性を確保する観点から、学識経験者からの評価及び意見をいただきました。

(学識経験者)

敬称略

氏 名	所 属 等
仲矢 明孝	岡山大学大学院教育学研究科 教授
高岡 敦史	岡山大学大学院教育学研究科 講師

平成28年度教育委員の活動状況

教育委員

(平成28年5月25日現在)

役職名	氏名	就任年月日	現任期
委員長	福島 信夫	平成26年5月25日 1期目	平成26年5月25日 ～平成30年5月24日
委員長職務代理者	杉山 知子	平成26年4月18日 1期目	平成26年4月18日 ～平成30年4月17日
委員	佐々木 勇	平成26年8月5日 1期目	平成26年8月5日 ～平成29年5月24日
委員	須田 多香子	平成27年5月25日 1期目	平成27年5月25日 ～平成31年5月24日
委員	平田 邦義	平成28年5月25日 1期目	平成28年5月25日 ～平成32年5月24日
教育長	大川 泰栄	平成26年8月5日 1期目	平成26年8月5日 ～平成29年5月24日

教育委員会会議の開催状況

開催月日		議事	教育長専決
4月26日	定例	4	
5月25日	定例	1	
6月27日	臨時	1	
6月30日	定例	2	
7月25日	定例	1	
8月24日	定例	4	
9月27日	定例	5	
10月26日	定例	2	0
11月21日	定例	3	1
12月26日	定例	2	1
1月23日	定例	0	0
2月10日	臨時	1	0
2月28日	定例	8	0
3月13日	臨時	1	0
3月28日	定例	7	2
計		42	4

教育委員会議決案件

	開催日	議決案件
1	4月26日	美作市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について
		美作市立図書館団体貸出実施要綱の制定について
		美作市教育委員会委員長の選挙について
		美作市教育委員会委員長職務代理者の指定について
2	5月25日	頑張る学校応援事業への推薦について
3	6月27日	美作市立学校教職員の行政措置について
4	6月30日	頑張る学校応援事業への推薦について
		美作市立図書館条例の一部を改正する条例について
5	7月25日	美作市立小学校及び中学校における指定学校の変更及び区域外就学に関する事務取扱要綱の一部を改正する告示について
6	8月24日	平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表について
		美作市公民館の設置、管理及び運営に係る諮問について
		平成29年度使用義務教育諸学校の教科用図書の採択について（学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書））
		美作市立幼稚園保育料減免に関する規則の一部を改正する規則について
7	9月27日	美作市教育委員会事務委任規則の全部を改正する規則について
		美作市教育委員会事務処理規則の一部を改正する規則について
		美作市教育委員会教育長事務委任規程の一部を改正する訓令について
		美作市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する告示について
		美作市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について

	開催日	議 決 案 件
8	10月26日	美作市文化財保護条例の全部を改正する条例について 美作市立学校教職員の行政措置について
9	11月21日	美作市重要文化財の指定について 美作市教育委員会事務の点検及び評価の報告書について 美作市文化財保護条例施行規則の全部を改正する規則について
10	12月26日	美作市文化財保護委員の選任について 平成29年度全国学力・学習状況調査結果の公表について
11	2月10日	美作市教育委員会委員の辞職の同意について
12	2月28日	平成28年度美作市一般会計補正予算（第6号）について 平成29年度美作市一般会計予算（当初）について 平成29年度矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学基金特別会計予算について 美作市英田就業改善センター設置条例を廃止する条例について 美作市英田就業改善センター設置条例施行規則を廃止する規則について 美作市英田創作館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 美作市英田創作館運営規則の一部を改正する規則について 美作市立学校教職員の行政措置について
13	3月13日	平成28年度末美作市立小・中学校県費負担教職員人事異動案について
14	3月28日	美作市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する告示について 美作市立学校教職員の「教職員の育成・評価システム」に係る苦情相談及び苦情処理に関する要綱の一部改正について 美作市評価者会議設置要綱の一部改正について 美作市学校運営協議会設置等に関する規則の制定について 美作市学校運営協議会設置等に関する要綱の制定について 美作市立学校管理規則の一部を改正する規則について 「美作市公民館の設置、管理及び運営のあり方について」の承認について

教育長専決案件

	開催日	議 決 案 件
1	11月21日	美作市教育委員会職員の人事について
2	12月26日	美作市文化財保護条例施行規則について
3	3月28日	美作市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について 美作市教育委員会事務処理規則の一部を改正する規則について

教育委員学校施設等訪問

訪問日	施設名			
6月27日	江見小学校 英北給食センター	江見保育園 大原小学校	大吉保育園 大原中学校	大原保育園 作東給食センター
6月30日	土居小学校 作東中学校	土居幼稚園	東栗倉幼稚園	東栗倉小学校

教育委員研修・行事の参加状況

	開催日	研修・行事名	開催場所	参加人数
1	4月1日	教育委員会辞令交付式	美作市	1
2	4月1日	教職員着任式	美作市	5
3	4月6日	美作市立幼稚園・保育園入園式	美作市	6
4	4月6日	美作地区市町村教育委員会平成28年度教育長会総会及び4月定例教育長会議	津山市	1
5	4月8日	美作市立中学校入学式	美作市	5
6	4月11日	美作市立小学校入学式	美作市	6
7	4月12日	美作市立幼稚園入園式	美作市	2
8	4月16日	スポーツ少年団入団式	美作市	3
9	4月22日	岡山県都市教育委員会教育長協議会平成28年度第1回定例会	高梁市	1
10	4月25日	平成28年度教育問題懇談会	吉備中央町	1
11	4月28日	平成28年度矢田茂・原田政次郎・福田五男育英資金運営審議会	美作市	2
12	4月30日	G7倉敷教育大臣会合公式サイドイベント「おかやま教育シンポジウム」	倉敷市	1

	開催日	研修・行事名	開催場所	参加人数
13	5月9日	平成28年度市町村教育委員会教育長等人権教育連絡会	吉備中央町	3
14	5月10日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会役員会	津山市	1
15	5月10日	美作地区市町村教育委員会5月定例教育長会議	津山市	1
16	5月19日 ～5月20日	第68回全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会	徳島県	1
17	5月22日	第51回宮本武蔵顕彰小中学生剣道大会	美作市	3
18	5月26日	平成28年度第1回美作市立学校給食共同調理場運営委員会	美作市	2
19	5月28日	勝田中学校運動会	美作市	2
20	6月3日	美作地区市町村教育委員会6月定例教育長会議	津山市	1
21	6月17日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会総会及び教育委員研修会	津山市	5
22	7月6日	美作地区市町村教育委員会7月定例教育長会議	美咲町	1
23	7月12日	平成28年度岡山県市町村教育委員会連絡協議会役員会	倉敷市	1
24	7月12日	平成28年度岡山県市町村教育委員会連絡協議会総会	倉敷市	5
25	7月21日	第54回岡山県中学校総合体育大会剣道競技	美作市	2
26	7月22日	岡山県都市教育委員会教育長協議会臨時会	岡山市	1
27	7月28日	全国高等学校総合体育大会開会式	岡山市	1
28	7月29日	全国高等学校総合少林寺拳法競技開会式	美作市	2
29	8月2日	第48回中国中学校サッカー選手権大会	美作市	1
30	8月12日	第48回宮本武蔵顕彰高等学校剣道大会	美作市	4
31	8月19日	美作市人権教育研修会	美作市	4
32	8月22日	津山市教育相談センター「鶴山塾」教育講演会	津山市	1
33	8月25日 ～8月26日	教育行政トップリーダーセミナー	岡山市	1
34	8月27日 ～8月28日	防災キャンプ（勝田小学校区）	美作市	2
35	8月29日	「平成28年度全国学力・学習状況調査」に係る市町村教育委員会教育長会	岡山市	1
36	9月2日	日本体育大学理事長松浪健二郎講演会	美作市	3
37	9月7日	美作地区市町村教育委員会9月定例教育長会議	津山市	1
38	9月10日	美作市立中学校運動会	美作市	4
39	9月17日	美作市立幼稚園・保育園・小学校運動会	美作市	6
40	9月18日	美作市立小学校運動会	美作市	2
41	9月21日	岡山県立林野高等学校公開授業	美作市	3
42	9月24日	美作市立幼稚園・保育園運動会	美作市	4
43	9月25日	美作市立保育園運動会	美作市	1
44	9月25日	美作市長杯剣道大会	美作市	2
45	9月26日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会役員会	津山市	1
46	10月1日	美作市立保育園運動会	美作市	1
47	10月1日	武蔵コンサート2016～大野俊三ジャズセッション～	美作市	4
48	10月4日 ～10月5日	人権教育推進委員・社会教育委員合同研修	京都府	2
49	10月6日	美作地区市町村教育委員会10月定例教育長会議	鏡野町	1
50	10月12日	ユニバーサルデザイン教育研究授業	美作市	1
51	10月12日	県教育長と市町村教育長との意見交換会	岡山市	1
52	10月13日	岡山県都市教育委員会教育長協議会平成28年度第2回定例会	新見市	1
53	10月20日	平成28年度おかやま教育の日協賛事業キックオフ講座教育講演会	津山市	3
54	10月20日 ～10月21日	平成28年度中国地区都市教育長協議会定期総会並びに研究協議会	鳥取県	1
55	10月23日	第15回お通杯宮本武蔵顕彰女子剣道大会	美作市	3
56	10月24日	美作市立湯郷幼稚園新築工事安全祈願祭	美作市	4
57	10月24日	平成28年度第2回美作市立学校給食共同調理場運営委員会	美作市	2
58	10月27日 ～10月28日	教育行政トップリーダーセミナー	岡山市	1
59	11月1日	美作地区市町村教育委員会11月定例教育長会議	津山市	1
60	11月3日	美作市制施行12周年記念式典	美作市	2
61	11月7日	美作市教育委員会視察研修	総社市	6
62	11月9日	平成28年度岡山県市町村教育委員会連絡協議会研修会	倉敷市	4
63	11月15日	美作地区市町村教育委員会連絡協議会教育委員秋季研修会	鏡野町	5

	開催日	研修・行事名	開催場所	参加人数
64	11月17日 ～11月18日	平成28年度市町村教育委員会研究協議会（第27 ^ラ ブロック）	高知県	5
65	11月18日	岡山県立林野高等学校公開授業	美作市	1
66	11月20日	美作市・西粟倉村青少年健全育成大会並びに美作・西粟倉PTA 連合会・母親委員研修会	美作市	6
67	11月23日	発達支援講演会	美作市	2
68	11月30日	ユニバーサルデザイン教育研究授業	美作市	3
69	11月30日	美作地区市町村教育委員会12月定例教育長会議	津山市	1
70	12月3日	美作市人権のつどい	美作市	6
71	12月6日	日本体育大学と連携したオリンピックによる体育指導&トーク ショー	美作市	4
72	12月10日	美作市文学祭	美作市	5
73	1月5日	平成29年宮本武蔵顕彰武蔵武道館鏡開き	美作市	5
74	1月8日	平成28年度美作市成人式	美作市	5
75	1月11日	美作地区市町村教育委員会1月定例教育長会議	津山市	1
76	1月13日	平成28年度市町村教育委員研究協議会	東京都	2
77	1月20日	岡山県都市教育委員会教育長協議会平成28年度第3回定例会	備前市	1
78	1月25日 ～1月26日	平成28年度岡山県都市教育委員会教育長協議会教育行政視察	広島県	1
79	1月26日 ～1月30日	学校給食試食会	美作市	3
80	2月5日	第37回美作市新春たこあげ大会	美作市	3
81	2月9日	美作地区市町村教育委員会2月定例教育長会議	津山市	1
82	2月10日	平成28年度第3回美作市立学校給食共同調理場運営委員会	美作市	2
83	2月12日	第23回美作市F1ロードマラソン大会	美作市	3
84	3月1日	人権啓発・男女共同参画推進会議	美作市	1
85	3月8日	人権啓発・男女共同参画推進会議	美作市	2
86	3月8日	美作地区市町村教育委員会3月定例教育長会議	津山市	1
87	3月11日	美作市立中学校卒業式	美作市	4
88	3月11日	美作市人権啓発講演会	美作市	1
89	3月12日	美作市立中学校卒業式	美作市	1
90	3月17日	美作市立小学校卒業式	美作市	6
91	3月23日	美作市立幼稚園・幼稚園・保育園卒園式	美作市	3

美作市総合教育会議

	開催月日	協議事項	開催場所	参加人数
第5回	1月23日	美作市教育大綱に基づく施策の取組状況について P T Aとの懇談会の実施結果報告について	美作市	6

平成28年度 美作市教育行政の重点施策

まちづくりの
基本理念

人・自然・暮らし
輝く 元気なまち

真の豊かさを求める愛の美作市

I 学校教育の充実

- 1 確かな学力の向上
- 2 心の教育の推進及び生徒指導の充実
- 3 特別支援教育の推進
- 4 幼児教育の推進
- 5 開かれた学校の推進
- 6 学習環境の整備・充実
- 7 学校園等の統廃合の推進

II 社会教育の充実と推進

- 1 自ら学ぶ学習環境づくりの推進
- 2 地域による子育て支援と家庭の教育力の向上
- 3 青少年健全育成の推進
- 4 人権教育の総合的な推進
- 5 公民館・図書館の管理・運営

III 文化・芸術の振興と文化財の保護

- 1 文化・芸術活動の推進
- 2 文化財の保存と調査

平成28年度教育委員会主要事務事業評価一覧表

教育総務課

番号	主要施策	主要事業	事務事業名	事業の目的	事業の内容	事業費(千円)	評価及び今後の課題	
1	学校教育の充実	開かれた学校の推進	高等学校活性化事業	美作市内唯一の高校である岡山県立林野高等学校後援会に対し、教育振興を後援し、普通科進学校としての個性的で魅力的な学校づくりを支援するとともに、地域に開かれた学校づくりの推進を図る。	後援会を通じて部活動やボランティア活動等に対し、補助金を交付する。	1,500	部活動やボランティア活動等への取組を広報した。地域と連携した教育活動や生涯学習の基地となる学校として、地域の期待が非常に高いため、現状のまま継続したい。	
2			学習環境の整備・充実	湯郷幼児園建設事業	快適な空間を備えて、幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい豊かな生活が展開できる園舎の建設を図る。	幼児期における教育及び保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、豊かな経験のできる環境を整え、心身の発達を助長するための教育施設の建設が必要である。	291,028	近隣住民との理解、協力を得ながら早期完成を目指す。
3				学校設備整備事業	各保幼小中施設における環境整備を整えると同時に、年間を通して適切な運営ができるよう管理する。	各保幼小中施設における環境整備を整え、児童・生徒が年間を通して安心して生活できる環境づくりに努める。	48,236	大規模改修外、老朽化により修繕が必要な施設を早期に改修した。また、エアコンの導入を検討した。
4		その他(援助・補助事業)	遠距離通学補助事業	遠距離通学児童生徒の保護者が負担する交通費等を援助し、義務教育機会均等の円滑な実施を図る。	遠距離通学児童生徒の保護者に対し、交通費等(定期券等)の必要な経費を援助する。	3,443	保護者の経済的負担の軽減や教育機会均等の補償のみならず、中山間地の過疎化対策としても意義がある。	
5			ヘルメット購入補助事業	自転車通学生徒の安全確保を図るため。	中学校へ自転車通学する生徒の通学途上の安全を確保するため、ヘルメットの購入補助を行う。自転車通学する中学生へ3年間を通して1回のみ補助として、上限2,500円を交付する。	400	自転車通学の生徒の安全確保のため、ヘルメット着用は有効であり、現状のまま維持する必要がある。事故に遭ったためヘルメットを着用していたため大きなケガをせずにすんだ事例もあり、ヘルメット着用するよう徹底した指導を学校とともに行う。	
6			就学援助事業	学校教育法に基づき、経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、必要な援助を行うことにより、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。	就学援助費の支給の対象となるのは、生活保護法により保護を受けている者及び保護を受けてはいるが保護を必要とする状態にある保護者。認定された場合は、給食費・学用品費・校外活動費等の就学に必要な経費の一部が支給される。	25,364	少子化とは言え、対象児童生徒数が増加傾向にあるため、ホームページにより広く周知を図っている。国の制度の改定により、平成28年度には支給額を増額した。	
7		特別支援教育就学奨励費事業	障がいのある児童・生徒が小学校・中学校の特別支援学級等で学ぶ際に、保護者が負担する教育関係経費について、家庭の経済状況等に応じ援助し、保護者の経済的負担を軽減することを目的とする。	特別支援学級等へ就学するために必要な経費の一部が奨励費として支給される。対象となる経費は、給食費・学用品費・校外活動費等。	2,097			
8		矢田茂・原田政次郎・福田五男奨学金事業	経済的理由により大学及び専修学校への修学が困難な者に対し、奨学金の貸与を行い、将来社会に貢献し得る有為な人材を育成する。	成績証明書等必要書類を添付した申請を受け、運営審議会において奨学生を選考する。選考した奨学生に対して月額3万円以内を貸与する。	6,861	年平均5人程度に貸与している。ここ2年希望者が増えており、選考基準を明確にする必要がある。		
9		文化・芸術の振興と文化財の保護	文化・芸術活動の推進	文化芸術推進のための人材育成を図ることを目的に支援を行う。	国内及び国外において開催される文化芸術全国大会等へ出場する個人、団体に対し支給する。	30	対象者が減少している。制度の周知が必要である。	

平成28年度教育委員会事務主要事業評価一覧表

学校教育課

番号	主要施策	主要事業	事務事業名	事業の目的	事業の内容	事業費(千円)	評価及び今後の課題
1	学校教育の充実	確かな学力の向上	学力調査事業	児童生徒の学力等の状況を把握する	全国(小6、中3)及び県(中1)の学力・学習状況調査が実施されない学年(小2～5、中2)において、市費による学力調査を実施する。	1,030	各学年の課題を明らかにでき、さらに経年比較をすることで、学力向上策を研究できた。 平成29年度の新県調査(小3～5、中1・2)にあわせ、事業実施を検討する。
2			放課後学習サポート事業	小学校、中学校に支援員を配置し、放課後等に補充的な学習等を実施することで、学習内容の確実な定着を図り、児童生徒の学力向上を図る。	市内7小学校(勝田、勝田東、大原、美作北、江見、土居、英田)5中学校(市内全校)に支援員を配置し、補充学習を中心に行う。	982	放課後学習の充実や問題データベースの活用等による基礎学力や活用力向上の取組が、全国学力調査での好結果につながった。 デジタル教科書導入は、視覚支援等による児童生徒がわかりやすい授業づくりに役立っている。 理科大好き応援事業は、事業後のアンケートからは、児童の興味関心の高まりがうかがえ、よい機会となっている。
3			問題データベース事業	基礎・基本の定着及び活用力の育成を図り、学力向上を図る。	小学校(国語・算数)中学校(数学・英語)で、補充学習や課題等に活用するため、問題データベースを利用する。	1,013	理科大好き応援事業は、事業後のアンケートからは、児童の興味関心の高まりがうかがえ、よい機会となっている。
4			デジタル教科書導入事業	ICT教材を活用し、児童生徒にわかりやすい授業づくりを進めるとともに学力向上を図る。	小学校算数(5・6年)及び中学校英語(全学年)にデジタル教科書を導入し、授業のユニバーサルデザイン化を図る。	5,882	・ 実験が楽しかった 98.6% ・ 内容がよくわかった 94.9% 放課後学習については、夏休みを活用した学校もあり、中学校区の取組としても考えられる。 問題データベースについて、個に応じた問題作成など活用の工夫改善を図りたい。
5			理科大好き応援事業	理科への興味関心を高め、学力向上を図る。	小学校4年生を対象に2単位時間(90分)の「おもしろ実験授業」を行う。また、夏季休業中には、高学年を対象に「体験ツアー」を行う。	480	ALTの指導及び異文化体験は、児童生徒の興味関心を高めるものであり、中学生の海外交流事業では予定を上回る応募があるなど、その効果があった。 雇用体制の検証、見直しを図る。
6			ALT派遣事業	美作市内小・中学校へ英語を母国語とする質の高いALTを派遣し、小学校外国語活動及び中学校英語科での指導及び異文化理解を図る。	小学校1校週1日配置、中学校1校週2～3日配置。小学校外国語活動や小1～小4の異文化理解の推進及び中学校英語科の支援を行う。	16,529	ALTの指導及び異文化体験は、児童生徒の興味関心を高めるものであり、中学生の海外交流事業では予定を上回る応募があるなど、その効果があった。 雇用体制の検証、見直しを図る。
7	心の教育の推進及び生徒指導の充実	適応指導教室(美作塾)事業	不登校及びその傾向にある児童・生徒に対して、相談・指導を行うことにより自立援助を行い、集団適応能力を育成することを目的とする。	適応指導教室「美作塾」において、不登校児童、生徒に対する適応指導、学校復帰に向けた学習支援や生活体験活動、不登校に対する相談活動、通室児童生徒の進路指導および進路保障、不登校要因に発達障がいなどが疑われる児童生徒およびその家族への支援等を行う。	3,092	本市における不登校、長期欠席者数はともに増加傾向にある。美作塾においても、平成28年度は23人が在籍したが、中3生徒7名は希望の進路に進学し、8人は学校復帰ができた。	
8			小学校における不登校対策実践研究事業	小学校において、不登校傾向にある児童やその保護者に対して、登校支援員の配置や不登校担当教員への研修を行い、担任と連携したケア・家庭訪問などの実施を通じて不登校未然防止に努めることが目的の事業。	土居小学校に登校支援員を配置し、不登校傾向にある児童やその保護者に対して、登校への働きかけを行う。また、校内に不登校担当教員を指名し、研修等を実施することにより、不登校傾向にある児童への対応を充実させる。	823	支援員を配置した土居小学校においては、平成27年度4人の長期欠席が平成28年度は1人に減少した。
9	特別支援教育の推進	特別支援教育支援員配置事業	小中学校に在籍する発達障がいを含む障がいのある子どもたちに対する適切な支援を行う。	小学校16人、中学校7人を配置し、発達障がいを含む障がいのある児童生徒に対して、基本的な生活習慣確立のための支援や学習支援、様々な活動の際の安全確保、さらに、他の児童生徒への障がい者理解の促進を図る。	59,829	特別な支援を要する児童生徒の割合は年々増加傾向にある。 ○ 支援が必要な児童生徒割合 ・ H27:小21.2%、中15.3% ・ H28:小25.0%、中19.7% また、その障がいも多様化しており、担任教師だけでは十分な支援が行き届かないことが数多くある。このため、支援員の配置は不可欠であり学校からの要望も大きい。	

平成28年度教育委員会事務主要事業評価一覧表

学校教育課

番号	主要 施策	主要 事業	事務事業名	事業の目的	事業の内容	事業費 (千円)	評価及び今後の課題
10	学校教育の充 実	特別支 援教育 の推進	ユニバーサルデザ イン教育推進拠点 校事業	特別支援教育の視点に立ち、 特別な支援を必要とする子ど もたちのみならず、どの子に とっても参加しやすい環境づ くりやわかりやすい授業づく りなど、多様で柔軟な学びの 場を構築できるように研究を 行う。	勝田東小学校を推進拠点校と し、外部講師を招聘しての講 演会や先進地視察を行うなど、 どの子にもわかりやすい 学習環境及び授業づくりの研 究を行う。	304	2年間の研究を通して勝田東小 学校での授業スタイルができた。 また、UDの考え方が浸透 し、多くの学校で学習環境の 改善が図られてきた。 授業づくりについては課題が あり、引き続き研究を行う。
11		幼児教 育の推 進	幼児教育推進体制 構築事業	就学前教育の質的充実と小学 校への円滑な接続のため、就 学前教育に携わる教員等の指 導力の向上を図るとともに、 平成27年度県教育委員会作成 の「保幼小接続スタンダー ド」の普及を図り、市町村に おける接続カリキュラム作成 に取り組むなど、就学前教育 を推進する。	就学前アドバイザーを配置 し、平成30年度までの3年間で 「美作市保幼小接続カリキュ ラム」を作成、試行、実施を 目指す。江見保育園と江見小 学校をモデル校園として研究 を進める。	1,967	就学前アドバイザー及び新た に配置した主任保育士の取り 組みにより園内研修体制を整 備し資質向上を図っている。 さらに接続カリキュラムを作 成し、次年度からの試行を目 指している。 保幼小連携を進めカリキュラ ムの周知、活用を推進する。
12		その他	メイトランドエリ アスクール交流事 業	メイトランドエリ アスクールとの相互交流として国際交流 を行うことで、国際感覚を身 につけ、国際社会に貢献でき る人材を育てることを目的と する。	中学校2・3年生を対象に15名 程度を募集し、メイトランド エリアスクールを訪問し交流 するとともに、ホームステイ による異文化体験を通して、 国際感覚を養う。	2,371	8日間の日程で生徒21人、引率 4人が参加。生徒、保護者とも に95%以上が肯定的評価だっ た。H29年度は訪問受入れにな る。

平成28年度教育委員会主要事務事業評価一覧表

社会教育課

番号	主要施策	主要事業	事務事業名	事業の目的	事業の内容	事業費(千円)	評価及び今後の課題
1		自ら学ぶ学習環境づくりの推進	生涯学習講座開催事業	市民へ学習機会を提供する。	①新規生涯学習講座の提供 ②子ども対象体験教室の開催 ③高齢者の生きがいや健康づくり支援	2,941	公民館主催講座を中心に、様々なジャンルでの講座を開催することができた。特に文化面での教養講座を増やすことにより、受講者は年々増加傾向にある。また、シニア層の学びの場となる高齢者大学講座においても、合同講座を増やす等、地域間の交流や講座の充実に向けた。さらなる受講者増に向け、引き続き市民や地域のニーズに即した講座の企画・実施が必要である。
2			文化センター事業	市民に芸術文化等に触れる機会と発表の場を提供し、心豊かな人生が送れるよう芸術文化の振興を図る。	文化センター・市民センターの貸館業務(特殊舞台装置等の使用者への提供)	5,329	美作文化センターについては設置後40年が経過しており、施設の補修など維持管理に努めている。
3	社会教育の充実と推進	地域による子育て支援と家庭教育力の向上	おかやま子ども応援事業	地域住民の参画により、学校教育支援、放課後等支援、家庭教育支援の活動を効果的に組み合わせた取組を推進し、学校・家庭・地域が連携して地域ぐるみで子どもを健やかに育むとともに、学校力、地域力の向上を図る。	①学校支援地域本部事業…地域住民がボランティアとして学校に入り、学習支援や学校行事等の支援、環境整備活動などを行う。 ②放課後子ども教室事業…放課後や週末、長期休業中における体験活動、交流活動を地域の協力を得て提供する。 ③家庭教育支援事業…家庭教育支援チームによる相談活動、家庭教育に関わる研修会等を行う。 ④土曜教育支援事業…地域住民が指導者となり、土曜日や長期休業中中等の休日に学習支援を中心に実施。 ⑤地域未来塾…中学生を対象に地域住民が指導者となり、放課後の時間を活用し、学習支援を実施。	3,586	学校・家庭・地域がともに連携し、子どもたちの健全育成を図っている。学校支援地域本部事業については、全中学校区での事業展開が達成された。放課後子ども教室事業については、学力向上の問題から国・県レベルで学力補充に向けた取組に事業転換されてきている。また、家庭教育支援事業については、現在10名のチーム員が3班で6地域の家庭教育支援に取り組んでいる。岡山県が推進する「親育ち応援学習プログラム」を要望のある学校・園に対し実施。更なる普及啓発を推進していく必要がある。今後は、学校・家庭・地域の連携をより密にした中学校区単位でのつながりづくりを推進するため、地域コーディネーターを中心に保幼小中のタテの連携及び各事業間のヨコの連携が求められる。
4			青少年健全育成事業	青少年健全育成啓発活動の推進、学校・家庭・地域の連携・協調、青少年への自然体験・生活体験等の体験活動を推進する。	P T A 連合会や岡山県青少年育成県民会議、子ども会連合会、各種団体と連携し、青少年の非行防止・健全育成の啓発活動を推進するほか、青少年に対し、様々な体験活動を提供する。	625	全国的に青少年が加害者・被害者となるような事件が続発しているが、美作警察署管内での非行・補導件数は減少傾向にある。青少年が社会との関わりを自覚しつつ、自主性を発揮し、自らの目標を持ち成長できる社会の実現に向け、学校・家庭・地域の連携の推進・促進を図ることができた。また、自然体験活動等を通じ仲間との協力や自立を促す学習については、参加者も多く好評であるため今後も継続実施としたい。
5			青少年育成センター事業	家庭・学校・地域社会が相互の連携と協調を図りながら次代を担う青少年の健全育成、非行防止に努める。	専任指導員を2名配置し、非行青少年の補導を行う。問題行動児童・生徒には各学校と常に情報交換を行い、合同会議の開催やアドバイスをを行う。また、学校・園での各種教室(交通安全、誘拐防止・非行防止、防犯、不審者対応訓練、携帯等)へ参加し、命の大切さを訴えるなど啓発に努めている。	9,394	学校・地域・家庭及び関係機関・団体との密接な連携を図り、より一層全市一丸となって健全育成に取り組む必要がある。専任指導員の巡回や情報交換を密に行い、引き続き安全の確保、非行防止活動や相談活動の充実を図る必要がある。

平成28年度教育委員会主要事務事業評価一覧表

社会教育課

番号	主要施策	主要事業	事務事業名	事業の目的	事業の内容	事業費(千円)	評価及び今後の課題
6	社会教育の充実と推進	青少年健全育成の推進	成人式事業	新成人に、成人としての責任や義務を自覚をさせ、地域社会への自立を促進させる機会とする。	新成人による実行委員会を立ち上げ、成人式を企画運営をおこなう。 式典、記念品の贈呈、記念写真の撮影。	1,700	本年度は初めての試みとして、新成人で構成する実行委員会により式の企画・運営を行った。その結果、新成人が自ら参加を呼びかけ、自分たちのアイディアを活かした式を実施することができ、例年以上の出席率を得ることができた。 次年度以降についても、実行委員会形式で新成人が主体となった式を計画し、成人としての自覚を育む行事とするとともに、郷土である“美作”の良さや定住を考えるきっかけづくりにつなげる。
7		人権教育の総合的な推進	人権教育事業	人権問題の解決と、人権が守られる社会の実現に向けて研修会、講演会、講座等幅広く人権教育・啓発に取り組む。	①人権教育事業…家庭・学校・地域など様々な場所や機会を活用し、人権意識や人権感覚をはぐくみ、差別や虐待などの人権侵害を許さない人権尊重社会の実現を目指した教育・啓発活動を進める。 ②教育集会所管理事業…教育集会所の管理・運営を行う。	1,558	①人権教育事業については、中学生及び保護者向けのネット・スマホ問題に対する研修会を実施することができた。 ②教育集会所については、設置された経緯等を十分踏まえた上、管理している地元住民と十分な協議を行いつつ、施設の運用・維持管理に務める。
8		公民館・図書館の管理・運営	公民館事業	市民の主体的な学習活動を支援し、活動の機会や交流の場を提供することにより、生涯学習の推進を図ることを目的とする。	市内に公民館を18館設置し、市民の身近な生涯学習施設として学習機会の拡充及び、市民団体・サークル活動の育成や支援を図っている。	74,742	本市の公民館業務は貸し館業務が中心であり、文化協会等の文化団体やサークル等が活動の拠点として公民館を利用する機会が多く見られる。そのような中、専任の公民館長を1名配置することで生涯学習講座や音楽会、映画上映会等の公民館事業を前年度以上に活発に実施することができ、市民の学習活動支援や交流の場を提供することができた。 今後は、社会教育委員から提出された「美作市公民館の設置、管理及び運営のあり方に係る答申」に基づき、専任公民館長の配置を促進するとともに、地域の拠点施設としての活用を目指す必要がある。
9			図書館事業	あらゆる年齢層における市民の生涯学習の推進に資するとともに、市民が必要とする資料の入手や整理・保存を行い、芸術や文学を鑑賞し、地域文化の創造を行う施設として運営を行う。また、市民にとって情報と交流の場の提供と豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とする。	勝田地域（勝田総合支所内）に図書館を新設。書籍、雑誌、新聞等を購入し、蔵書を収集、整理、保存し貸し出す。 市内の学校・園への団体貸出の際、宅配業者を活用した配送サービスを開始。 図書館イベントでは、読み聞かせ会（ボランティア）や映画会の定期開催による幼児・児童の視聴覚教育、集いの場を提供している。	27,062	勝田図書館の新設、配送サービスの開始など、図書館機能の環境を整え、利便性の向上に努めた。 より一層の貸出冊数の増加を図るため、ネットワーク等を活用した新刊図書等蔵書の紹介及び特色のある図書館づくりに努める。 今後は、アンケート調査や利用状況などから分析・考察し、図書館運営の改善・充実と読書活動の更なる推進を図る必要がある。

平成28年度教育委員会主要事務事業評価一覧表

社会教育課

番号	主要施策	主要事業	事務事業名	事業の目的	事業の内容	事業費(千円)	評価及び今後の課題
10	文化・芸術の振興と文化財の保護	文化・芸術活動の推進	文化芸術振興事業	文化連盟への支援のほか、文学祭、文化講演会等の事業を開催することにより、本市の文化レベルの向上を目指す。	①文化協会事業…文化祭、発表会の開催支援を行う。 ②文学祭事業…本市在住の作家「あさのあつこ」氏を審査委員長に、読書感想文を募集し、優秀作品を表彰する。最優秀作品は本人に朗読してもらう。また、合わせて対談、劇等文学に触れる機会を提供する。 ③文化講演会事業…講演会等を開催する。	3,859	①文化協会の活動については、引き続き文化祭や発表会等により相互の交流を図る。 ②文学祭については、全国公募の読書感想文コンクールを事業の核に位置づけ実施し、定着させてきている。 ③2020年オリンピック・パラリンピック開催までの期間、文化振興を更に促進するため、「美作市文化芸術振興委員会」を組織。官民一体となって文化プログラムを企画実施する方法を今後も継続していく必要がある。
11		文化財保護一般事業	将来に向けた文化財等の保存・活用・伝承を図るとともに、文化財等を通じて市民の郷土に対する愛着や文化財保護について啓発を進める。	文化財の記録保存・賃貸・保護・伝承。	359	文化財の把握と情報発信を兼ねたデジタルミュージアムの作成に着手し、情報を更新している。また近年文化財を観光資源として公開することが多く、文化財保護法の改正に伴い、より積極的な活用が求められることが想定されるため、市内文化財の活用方法について検討する必要がある。	
12		文化財の保存と調査	文化財発掘調査事業	開発に伴う埋蔵文化財の調査を行う。	市内に所在する埋蔵文化財包蔵地における開発行為の申請により、試掘調査及び発掘調査を実施する。	2,793	発掘調査によって出土した鉄器の保存処理と鉄分析など報告の準備を行った。発掘後の出土資料の活用が図れていなかったが、小企画展を美術館で開催することができた。
13		市指定文化財管理事業	美作市に所在する重要文化財等の保存伝承及び保護管理を図る。	保存伝承及び保護管理のための補助金等の交付。	1,339	市指定文化財の保存伝承を図るため、補助金交付要綱の趣旨を周知し、無形民俗文化財5件、有形文化財3件に補助金を交付した。	

平成29年度 美作市教育委員会事務の点検及び評価報告書に対する意見
(平成28年度事業対象)

学識経験者 仲矢 明孝
学識経験者 高岡 敦史

1. 全体を通して

市教育振興基本計画及び市教育大綱と連動して施策・事業が数多く展開されており、教育改善への意欲が感じられる。また、個々の事業への取り組みの結果については、その評価と課題等が整理して示されている。

しかしながら、市教育大綱、市教育振興基本計画、教育委員会各課の事業との関連性が分かりにくく、どの文書を拠り所にして事業推進を図っているのかが曖昧である。また、いずれもロードマップ（年次実践計画とその到達目標）が示されていないため、いつまでに何を達成していれば取り組みが順調に推移していると言えるか、ということの判断が難しい。加えて、市教育大綱においては目標値としての指標が示されているが、指標に対応する個別施策の到達目標が未設定のため、各施策に対応する各事業の取り組み実績を評価することが困難な状況にある。

また、各課の事業間の関係性を捉えることが難しい。例えば、放課後の子どもの学びや成長に関わる事業は学校教育課と社会教育課において取り組まれているが、そこで子どもとその成長の捉え方、あるいは目指すべき成長の方向性や到達目標の共通認識やそこに向かう各課の連携・連動が事業評価一覧表からは確認できない。

教育委員会事務全体の取り組みあるいは各課の取り組みの成果を評価するためには、市の学校教育・社会教育の推進のための柱を立てた上で、各課の事業を連携・連動させ、相乗効果が生まれるような整理が必要であろう。そして、事業推進の進捗とその成果を評価するために、到達目標を含むロードマップの策定が求められる。

2. 各課事務について

2-1. 教育総務課

教育・学習環境の基盤整備に向けた重要な施策が継続的に取り組まれている。今後は、市教育大綱、市教育振興基本計画、そして学校教育課及び社会教育課の各事業の連携・連動性の確保に向けたマネジメントが求められるだろう。

- 学校設備整備事業：学校施設の整備が計画的に行われるよう将来の児童・生徒数の推計等と関連した学校整備計画全体のビジョンとロードマップに基づいて展開される必要がある。
- 遠距離通学補助事業：民間バス路線の廃止という可能性を含め、持続可能で安心・安全な通学環境の整備に関する研究が必要である。

2-2. 学校教育課

学力向上に係る事業が数多く取り組まれている（学力調査事業、放課後学習サポート事業、問題データベース事業、デジタル教科書導入事業）が、その体系性・関連性が不明確である。また、学校での授業改善にどの程度効果を発揮したのか、といった質的な検証も求められるだろう。

- 学力調査事業：学力向上の取り組みである生活習慣や学習規律の徹底、ユニバーサルデザイン教育推進拠点校指定、家庭生活見直しのためのチラシ配布は、基礎的・間接的なものと思われる。さらなる積極策が求められる。また、これらの取り組みが学力向上や授業改善にどの程度寄与したのか、という効果検証も必要である。
- 放課後学習サポート事業：放課後学習の1校あたりの開催頻度が、小学校に対して中学校が低い。学力低位状況は、中学校の方が課題を抱えていることから、中学校での積極的な取り組みが必要であろう。
- 問題データベース事業：アクセス回数が低いと思われる。アクセス回数目標値を設定するとともに、授業での活用を促進すべきであろう。

- デジタル教科書導入事業：導入教科の設定の施策上の根拠を明確にすることで、学校での活用を促進できるのではないだろうか。また、授業での活用状況を把握すべきである。
- 適応指導教室（美作塾）事業：小学校の通塾割合が中学校に比べて低い。その要因を検討した上で、目標値を設定すべきであろう。
- 特別支援教育支援員配置事業：市教育大綱では支援員の研修について言及されているものの、事業が見当たらない。支援員の効果的な研修の実施が必要である。
- ユニバーサルデザイン教育推進拠点校事業：勝田東小学校モデルの他校への普及が今後の課題であろう。また、実践そのものの成果（実践内容）を普及させるだけでなく、それが具体的にどのようなプロセスを経て実践され得たのか、という考え方や方法を普及させる必要がある。

2-3. 社会教育課

公民館、図書館、文化芸術振興では、新しい取り組みが多く実践されてきており、活発化していると言える。

試行的・実験的な取り組みは重要であるが、PDCAサイクルを回さなければ、継続的な事業の質の向上と成果の追求は難しい。これまでの取り組みから成果と課題を抽出し、次年度以降に生かす方が求められるだろう。

- 生涯学習講座開催事業：教室数は増えているが、参加者数が半減している。課題の分析が必要である。
- 文化センター事業：文化センター、市民センターの利用者数・利用回数が前年度と比べて半減している。課題の分析をした上で、利用方法の検討が必要である。
- おかやま子ども応援事業：学校支援地域本部の拡大に伴って一人当たりのボランティア活動が低調化しており、その原因追求が必要であろう。また、放課後子ども教室推進事業・家庭教育支援事業・土曜日教育支援事業・地域未来塾の関連性が不明確であり、各事業の役割を明確にする必要があるだろう。